

タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年7月2日(火) 午後7時～8時30分
場 所 埴自治会館（埴自治会）
参加者 32人



主な意見等

参加者 すぐ側に河岸記念館がありますが、あそこに防犯カメラを設置してほしいです。

また、高齢者の方が行方不明になっていると防災無線で放送がありますが、結果報告はしないのでしょうか。

あと、はけ地域は残念ながら公園がありません。旧江戸屋の隣の梅の木がある辺りを整備して公園などにしていただければ災害時の拠点にもなると考えます。旧江戸屋については、現在の状況についても伺いたいです。また、川沿いの船着き場のあたりで子どもたちが遊ぶこともありますので、たまには草刈り等手入れをしていただきたいです。

最後に新型コロナウイルスワクチンについて、今は補助が出ていないかと思いますが、ワクチン接種に対して補助金を出してほしいです。

市長 河岸記念館の防犯カメラに関してですが、公共施設の周辺に防犯カメラを設置していきたいという構想はあります。防犯カメラはコンビニなどに設置されていることが多く、警察の捜査や犯罪抑止に役立っていますが、一般住宅が写り込むなど、個人情報保護の問題もあります。要望として承ります。

防災無線での行方不明高齢者に関する放送は以前より増えてきています。結果も放送できると良いのですが、あまり放送回数が多くなりますと放送があることに慣れてしまい、危険人物が現れた際などに放送を聞き流してしまう可能性もありますので、回数は極力少なくしたいと考えています。結果報告はFメールで配信させていただいておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

また、はけ地域には公園がないということについて、旧江戸屋の状況と併せてお伝えさせていただきます。旧江戸屋に関しては、権利関係が複雑な部分もありまして、旧江戸屋自体はご寄付をいただいたものの、境界確定が終わっていない状況でしたが、まもなく確定するかもしれません。公園になるのか広場的なものになるのかは未定ですが、公園設置の要望が挙がっていることについては検討したいと思えます。

船着き場周辺の草刈りについてですが、河川敷は県の管轄になっており、県における財政的な事情から頻度が減っている状況です。気候によっては草が大幅に伸びることもありますので、県と協議して進めていきたいと思えます。

最後にワクチンに関することですが、新型コロナウイルスワクチンの定期接種が秋接種から始まる予定です。感染症法上の分類が2類の時は全額国が負担していましたが、今後は自己負担が求められることとなります。現在、東入間医師会と調整を図っているところですが、極力皆様のご負担にならないよう、3,000円程度で接種できるようにしていきたいと考えています。

参加者 先日、道路修繕工事のお知らせがまわってきました。傷んだ舗装の打ち換え工事が、養老橋の手前の駐車場あたりからこの会館のそばまでとなっていました。そこから先の方の道もひび割れが出ていますので、なぜこのそばまでなのかを工事の人に聞きましたが、市役所に言われたことしかできないと言われました。



もう一点、道路のことですが、南古谷の方に向かう道は県道だと思いますが、ベルオートのちょっと先が陥没しています。夜にバイクが走るとガクッと落ちることもあり危険です。県に伝えてほしいです。

市長 道路修繕工事に関しては、担当に確認して連絡させていただきます。また、県道のわだちについても、確認の上で県にお伝えさせていただきます。

参加者 現状や市の歴史について、体系立てて市長からお話を聞いて勉強になりました。安全・安心という観点から、今取り組んでいる施策について進めていってほしいです。

今年の3月頃に、はけ自治会で会員の方が大勢脱会してしまいました。今後の自治会の在り方について検討会を行ってきたのですが、加入率低下を防ぐ良い取組などあれば、お伺いしたいです。

市長 自治組織への加入率の低下は、行政としても重大な課題として捉えています。ふじみ野市のような市町村を地方自治体と言いますが、その地域を自治するのは、そこに住む人たちです。ふじみ野市の中に多くの地域があり、そこに住む人たちが地域をよくしよう、災害などの際は助け合おうと頑張っていますが、最近地域の人と一緒に力を合わせようという意識が薄れてきてしまっているように感じます。そういった方々に、どう働きかけるかが大事だと思います。以前、タウンミーティングで若い世代の方がいらっしゃって、その方が自治組織に加入したきっかけを話してくれました。その方いわく、前は地域の活動には興味がなく、共稼ぎで忙しいのでなるべく関わらないようにしていたとのことでした。しかし、能登半島へボランティアに行

った際に、行政ではなく、地域の人が自ら復旧・復興の為に協力している姿を見て、自治組織の大切さを感じたとおっしゃっていただきました。また、市の広報を使って自治組織の重要性をもっと訴えてほしいとご要望をいただきました。市としても地域のつながりの大切さをPRしていきますし、特にこどもたちに教育の一環として伝えていくことが大事だと考えています。

参加者 県道の横の歩道は県の管轄でしょうか。木の切り株のような形をしたコンクリート製の設置物があります。そこに腰をかけて休まれる方もいるのですが、うちの玄関の目の前にあるため、部屋の中が見えてしまうのではないかと困っています。また、自転車がぶつかって転倒することもあり危ないです。県にも電話をしたのですが、取り合ってもらえませんでした。市の方で何かできないでしょうか。

また、上福岡駅東口は今後どうなるのでしょうか。

市長 コンクリート製の設置物については、市から県にかけあってみます。

上福岡駅の東口に関しては、昭和29年に都市計画決定されました。約2,000平方メートルの土地の取得に着手し、令和3年度には歩道橋が完成しました。高齢の方からエスカレーターがないと歩道橋が使えないじゃないかとお叱りをいただくこともありますが、この歩道橋を設置した目的としては、お元気な方に歩道橋をお使いいただき、高齢の方などに駅のエスカレーターなどを安心して使っていただけるよう混雑の緩和を狙って設置をしたものです。通学で使われる学生さんに歩道橋を通っていただくよう、城北埼玉中学・高等学校にも私が直接お願いにいきました。都市計画決定されたエリアの中にもまだ、市の所有となっていない土地もあります。駅前の良い立地なので地権者の方としても手放したくはないかと思いますが、ご納得いただけるような条件を考えて交渉を続けていきたいと考えています。

参加者 ごみ収集は市から民間事業者へ委託してやっているかと思いますが、収集した後にネットが道路に広がっている時があります。はけ地区は道路が狭いところが多いので、ネットが広がっていると危険です。地区の当番の人が片付けてくれますが、それまでの間、一時的にでも広がっていると危ないです。畳んでくれとまでは言いませんが、端に寄せてほしいです。

市長 当番の方もお仕事や家のことがありますから、すぐにネットを片付

けるとはいかないところもあるかと思えます。事業者のほうにそのようをお願いしたいと思えます。

参加者 市では、基金を運用しているのでしょうか。

また、この前大日本印刷に挨拶にいったら、はけ地域の人が災害にあった場合は、大日本印刷に避難してよいと言われました。ステラ・イーストや上野台小学校など災害時の避難先が色々ありますが、大日本印刷へ避難できるのであれば、それは心強いです。民間の会社ですが、災害時は大日本印刷も物資配給の対象となるのでしょうか。

市長 基金運用については、国債などによる債券運用や様々な方法で運用をしています。多い時で年間2, 3千万円程度の運用益が出たこともありました。皆様からお預かりしているお金ですので、何より安全な運用を心がけています。

大日本印刷の話がありました。本市ではイオンタウンとも協定を結んでおり、水害の際には車を敷地内に運び込んでいいことになっています。災害時の支援物資については、民間の会社の敷地に避難している場合でも、きちんと届きますので安心してください。先ほど少しお話ししましたが、実際に災害が起きた場合、行政職員も被災者になることがあるため、ケガをするなど直ぐに参集できないことも想定されます。そのため、地域での作業まで中々手が回らないこともあります。私の立場からは言いづらいことですが、何よりも地域の力が大事になります。まずは地域の人たちで力を合わせていただきたいと感じております。

参加者 大日本印刷のそばに住んでいる方の避難場所が葦原中学校となっています。坂を下るのも大変ですので、近くの上野台小学校を避難場所にしてほしいと市に電話したところ、断られてしまったようです。

市長 対応した職員の伝え方が悪かったと思えますが、そもそも避難所の収容可能人数には限りがありまして、市民の方、11万4,000人全員は入れません。避難所というのは自分の家では過ごせない人たちが一時的に避難する場所です。戻れる方はご自宅に戻っていただきます。避難所は、おおまかにエリア設定していますが、そこでないと行ってはいけないという決まり事ではありません。目安としてお考えいただければと思います。

参加者 大日本印刷の正門前にある広報板の板面が硬いです。トンカチを使って刺さないと刺さらないです。掲示する人がみんなトンカチを持っ
(追加

質問) てくるわけではないため、画鋲がすぐにとれてしまいます。足にも刺さったことがあります大変危険です。車もそばを通るため、タイヤも心配です。

市長 市内には112カ所の広報板があり、ご指摘のとおり、板面が硬くピンが刺さりにくい箇所が複数あると認識しております。屋外の掲示板ということもあり、板面のラワン合板が経年劣化とともに硬化してしまっているものが増えつつある状況です。広報板の計画的な修繕計画を立てるとともに、板面の取り替え修繕時においては、板面の素材を見直し、中間層に柔らかい木材を使用した、ピンが刺さりやすい合板に変えていくよう順次対応して参ります。

参加者 (追加質問) ゴミ収集所で、自治会で網をかけてゴミを出しているが、小動物(ハクビシン、テンなど)が荒らしてしまっています。網をかけるだけでは足りません。どうしたらよいでしょうか。荒らされたゴミの中にはおむつの入った袋もあり、かなり気にしてしまっている人もいます。

市長 小動物などが容易に集積所を荒らすことのできる状態にあると、餌場として生ごみを狙うようになってしまいます。被害を出さないための対策として、既に実施されていまして申し訳ございませんが、餌として狙われる時間を極力減らすことが一番の対策となりますので、ごみを長時間集積所に放置しないよう、決められた収集日の朝お出しいただくことや、ハクビシンやテンは嗅覚の優れた動物ですので、生ごみなどは水切りをしてからお出しいただくことで臭いを抑えることができます。

また、ネット(網)は上からかけるだけでなく、ごみの下に巻き込むように覆っていただくとともに、重しなどもご活用いただくと隙間からの侵入を防ぐことができるため、飛散防止により効果的です。